

燈臺
名稱

燈臺製作

しびは佛名によめり、燈きえんとて光をますといふは、列子に燈將滅者必大明と見えたり、

〔令義解一〕主殿寮

頭一人掌略中燈燭謂油火爲燈蠟火爲燭也略事

〔倭名類聚抄十三〕伽藍具燈明 大般若經云、上妙花鬘乃至燈明和名於保美阿加之

〔倭訓栞前編三十〕みあかし 日本紀に燃燈をよめり、佛家にいへり、倭名抄に燈明をおみあかし

と訓せり、

〔倭名類聚抄十二〕燈臺 本朝式云、主殿寮燈臺、

〔饅頭屋本節用集財寶〕灯臺トウダイ

〔倭訓栞中編十六〕とうだい 延曆儀式帳に燈提と書り、本朝式の燈臺と同一や、結燈臺、菊燈臺、高

燈臺、切燈臺などいへり、

〔延喜式内匠〕燈臺四基、料漆一升二合、絹一尺、綿六兩、細布一尺、掃墨四合、燒土五合、單功十二人、

〔類聚雜要抄四〕燈臺

